

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3124623号  
(U3124623)

(45) 発行日 平成18年8月24日(2006.8.24)

(24) 登録日 平成18年8月2日(2006.8.2)

(51) Int. Cl. F I  
**DO3D 11/00 (2006.01)** DO3D 11/00 Z  
**DO3D 15/08 (2006.01)** DO3D 15/08

評価書の請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 実願2006-4525 (U2006-4525)  
 (22) 出願日 平成18年6月12日(2006.6.12)

(73) 実用新案権者 505203140  
 諏訪 文久  
 愛媛県今治市泉川町2丁目1-31  
 (74) 代理人 100083806  
 弁理士 三好 秀和  
 (74) 代理人 100088797  
 弁理士 岡崎 孝二  
 (72) 考案者 諏訪 文久  
 愛媛県今治市泉川町2丁目1-31

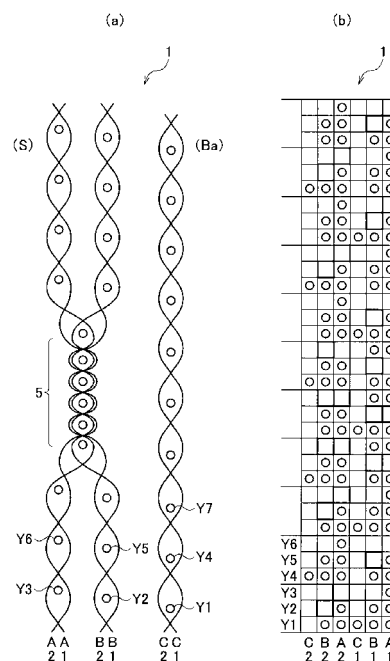
(54) 【考案の名称】 織り柄付ちりめん状3層ガーゼ織物

(57) 【要約】

【課題】 柔軟で、ふくよかさを有し、かつ表面に趣味を満足させるための織り柄を付けると共に、実際ちりめんと異なるちりめん状の性質を与えて触感を良好とした織り柄付ちりめん状3層ガーゼ織物を提供する。

【解決手段】 タテ糸に縮まない糸を用いた表面ガーゼ層Aと、タテ糸又は及びヨコ糸に縮む糸を用いた中間ガーゼ層Bと、タテ糸に縮まない糸を用いた裏面ガーゼ層Cから成る3層構造とすると共に、前記中間ガーゼ層Bを前記表面ガーゼ層Aと絡めつつ表面に柄出しをしたことを特徴とする織り柄付ちりめん状3層ガーゼ織物。

【選択図】 図2



**【実用新案登録請求の範囲】****【請求項 1】**

タテ系に縮まない糸を用いた表面ガーゼ層 A と、タテ系又は及びヨコ系に縮む糸を用いた中間ガーゼ層 B と、タテ系に縮まない糸を用いた裏面ガーゼ層 C から成る 3 層構造とすると共に、

前記中間ガーゼ層 B を前記表面ガーゼ層 A と絡めつつ表面に柄出しをしたことを特徴とする織り柄付ちりめん状 3 層ガーゼ織物。

**【請求項 2】**

前記表面ガーゼ層 A の表面には、プリント植写を行うことを特徴とする請求項 1 記載の織り柄付ちりめん状 3 層ガーゼ織物。

10

**【考案の詳細な説明】****【技術分野】****【0001】**

本考案は、織り柄付ちりめん状 3 層ガーゼ織物に関する。詳しくはタオルやハンカチ等の布製身の回り品に用いられる 3 層構造のガーゼ織物であって、表面に織り柄が設けられ、かつ中間ガーゼ層のタテ系に縮む糸を用いた上で、中間ガーゼ層と表面ガーゼ層の絡めによって表面に織柄模様を付けることによってちりめん状とした織り柄付ちりめん状 3 層ガーゼ織物に関する。

**【背景技術】**

20

**【0002】**

従来 of ガーゼ織物の例としては、例えば実用新案登録第 3100929 号の例がある。これはガラス繊維ガーゼと、セラミック焼成物を含浸塗着した不織布からなる中間層と、綿ガーゼからなる内層の 3 層構造の顔面装着用マスクである。

**【0003】**

また、従来 of ちりめんとしては実用新案登録第 3045074 号の例がある。これは、撚りを交互に変えて織った絹製ちりめんから成る浴用タオルである。

**【0004】**

しかしながら、タオル、ハンカチ等の布製身の回り品としては、3 層ガーゼで、かつちりめん状のものは知られていない。しかも、実際ちりめんは特殊糸を用いてヨコ系に撚りを加えて成るものであるが、ちりめんではない「ちりめん状」の 3 層ガーゼについては全く知られていない。

30

**【特許文献 1】** 実用新案登録第 3100929 号公報、第 1 頁、図 1

**【特許文献 2】** 実用新案登録第 3045074 号公報、第 1 頁、図 1

**【考案の開示】****【考案が解決しようとする課題】****【0005】**

本考案はガーゼの柔軟性にふくよかさを加えた 3 層ガーゼ構造で、柔軟で、ふくよかさを有し、かつ表面に趣味を満足させるための織り柄を付けると共に、実際ちりめんと異なるちりめん状の性質を与えて触感を良好とした織り柄付ちりめん状 3 層ガーゼ織物を提供することを目的とする。

40

**【課題を解決するための手段】****【0006】**

上記課題を解決するための本考案の織り柄付ちりめん状 3 層ガーゼ織物は、タテ系に縮まない糸を用いた表面ガーゼ層 A と、タテ系又は及びヨコ系に縮む糸を用いた中間ガーゼ層 B と、タテ系に縮まない糸を用いた裏面ガーゼ層 C から成る 3 層構造とすると共に、前記中間ガーゼ層 B を前記表面ガーゼ層 A と絡めつつ表面に柄出しをしたことを特徴とする。

**【0007】**

中間ガーゼ層 B において、タテ系又は及びヨコ系に縮む糸を用いるとは、タテ系のみ

50

縮む糸を用いた場合と、ヨコ糸のみに縮む糸を用いた場合と、さらにはタテ糸及びヨコ糸の両方に縮む糸を用いた3例を含む。

【0008】

前記表面ガーゼ層Aの表面には、プリント植写を行うことができる。

【0009】

本考案では、3層のガーゼ層A、B、Cが構成され、中間のガーゼ層Bのタテ糸には縮む糸が用いられる。従って、中間ガーゼ層Bを表面ガーゼ層Aと絡めつつ織り柄を付けると、その部分で局所局所糸の伸縮が生じ、全体的にちりめん状とすることができる。このちりめん状は単にちりめん状であるのみならず、中間ガーゼ層Bが伸縮性を有するので、柔軟性を持ったちりめん状となる。表面ガーゼ層Aと中間ガーゼ層Bとの間では部分的に、また中間ガーゼ層Bと裏面ガーゼ層Cとの間は全体的に袋状となり、柔軟で、ふくよかさを有し、かつ表面に興味を満足させるための織り柄を付けた形となる。ちりめん状となるのでさらに触感が良好となる。

10

【考案の効果】

【0010】

以上の通り、本考案は、タテ糸に縮まない糸を用いた表面ガーゼ層Aと、タテ糸又は及びヨコ糸に縮む糸を用いた中間ガーゼ層Bと、タテ糸に縮まない糸を用いた裏面ガーゼ層Cから成る3層構造とすると共に、前記中間ガーゼ層Bを前記表面ガーゼ層Aと絡めつつ表面に柄出しをしたことを特徴とするので、柔軟で、ふくよかさを有し、かつ表面に興味を満足させるための織り柄を付けると共に、実際ちりめんと異なるちりめん状の性質を与えて触感を良好とした織り柄付ちりめん状3層ガーゼ織物となる。

20

【考案を実施するための最良の形態】

【0011】

以下、添付図面に基いて本考案を実施するための最適の形態を説明する。図1は本考案の一実施形態に係る織り柄付ちりめん状3層ガーゼ織物1(以下、単に織物1と称す。)の正面図(a)及び側面図(b)を示す。図2は上記織物1の断面構造(a)及び組織図(b)を示す。中間ガーゼ層Bにおいて、タテ糸のみについて縮む糸を用いた例で示すが、本考案はこれに限定されず、タテ糸又は及びヨコ糸に縮む糸を用いた場合に適用される。

【0012】

図1(a)に示すように、本考案の織物1は、表面ガーゼ層Aが表面に露出し、その表面2に織り柄3が設けられる。バラの花やその葉等として表現される織り柄3は、中間ガーゼ層Bを表面ガーゼ層Aに絡め、糸を交差させて縁4を形取ることにより得られる。従って、柄3の内側は表面ガーゼ層Aと同一組織となる。図1(b)の最下層は、裏面ガーゼ層Cを示す。

30

【0013】

図2を用いて織り方を説明する。図2(a)において左方が表面(S)、右方が裏面(Ba)を示す。図2(a)に示すように、表面ガーゼ層Aのタテ糸A1、A2と、中間ガーゼ層Bのタテ糸B1、B2と、裏面ガーゼ層Cのタテ糸C1、C2を図2(b)のように並べ、ヨコ糸Y1、Y2、Y3・・・を通しながら、順次の層A、B、Cをガーゼで織る。ここに、表面ガーゼ層A及び裏面ガーゼ層Cのタテ糸A1、A2、C1、C2としては通常の縮まない糸を用いる。中間ガーゼ層Bのタテ糸B1、B2としては、強撚糸等の縮む糸を用いる。各タテ糸に名称を付け、糸の種別を示してまとめると表1の通りである。

40

【表 1】

図 1 のタテ糸の名称		
符号	名 称	タテ糸種別
A 1	表面ガーゼ層タテ糸 No.1	縮まない糸
A 2	表面ガーゼ層タテ糸 No.2	縮まない糸
B 1	中間ガーゼ層タテ糸 No.1	縮む糸
B 2	中間ガーゼ層タテ糸 No.2	縮む糸
C 1	裏面ガーゼ層タテ糸 No.1	縮まない糸
C 2	裏面ガーゼ層タテ糸 No.2	縮まない糸

10

## 【0014】

図 2 ( a )、( b )において、交差部分 5 では、中間ガーゼ層 B と表面ガーゼ層 A とを絡め、この部分が図 a の縁 4 となる。

20

## 【0015】

以上により、図 1、図 2 で示した織物 1 ができる。この織物 1 は、縮まないタテ糸 A 1、A 2 を用いた表面ガーゼ層 A と、縮むタテ糸 B 1、B 2 を用いた中間ガーゼ層 B と、縮まないタテ糸 C 1、C 2 を用いた裏面ガーゼ層 C から成る全ガーゼ 3 層構造で、中間ガーゼ層 B を表面ガーゼ層 A に絡めて表面に柄 3 を出している。中間ガーゼ層 B が表面ガーゼ層 A に絡まると共に、中間ガーゼ層 B のタテ糸として縮む糸が用いられているので柔軟なちりめん状となる。

## 【0016】

従って、3 層のガーゼ層によって柔軟で、ふくよかさを有し、かつ表面に趣味を満足させるための各種の織り柄を付けると共に、実際ちりめんと異なるちりめん状の性質を与えて触感を良好とした織り柄付ちりめん状 3 層ガーゼ織物 1 が完成された。

30

## 【0017】

上記織物 1 の表面 2 には、適宜色で任意の植写を行うことができ、カラフルな織物 1 とすることができる。

## 【0018】

また、上記織物 1 の各ガーゼ層 A、B、C に色を付け、カラフルな織物 1 とすることができる。

## 【0019】

本考案は、上記実施形態に限定されるものではなく、適宜変形を行うことにより、各種態様で実施できる。

40

## 【図面の簡単な説明】

## 【0020】

【図 1】本考案の一実施形態に係る織り柄付ちりめん状 3 層ガーゼ織物の正面図 ( a ) 及び側面図 ( b ) を示す。図 1 ( b ) の側面図では、簡略的に各層 A、B、C を 1 本の線で示している。

【図 2】図 1 に示した織物の断面構造図 ( a )、及び組織図 ( b ) を示す。

## 【符号の説明】

## 【0021】

- 1 織り柄付ちりめん状 3 層ガーゼ織物
- 2 表面

50

